

世帯の状況表

| | | | | | |
|-------|--|------------|-----|---|----------------|
| 申込者氏名 | | 生年月日 (年齢) | 職 業 | 勤務先名称等 <small>※勤務しながら修学する場合のみ記入</small> | 自宅通学又は 自宅外通学の別 |
| 本人 | | 年 月 日 (歳) | | | 自宅 ・ 自宅外 (下宿等) |

<申込者の家族欄>

| 生計 維持者 | 続柄 | 氏 名 | 生年月日 (年齢) | 職 業 等 | | 申込者と 住 居 |
|-----------|----|-----|-------------|-------|--------|-------------|
| | | | | 職 業 | 勤務先名称等 | |
| | | | 年 月 日 (歳) | | | 同 ・ 別 |
| | | | 年 月 日 (歳) | | | 同 ・ 別 |
| | | | 年 月 日 (歳) | | | 同 ・ 別 |
| | | | 年 月 日 (歳) | | | 同 ・ 別 |

学生・生徒・児童である家族の記載欄 ※申込者以外で学生・生徒・児童である家族については、以下へ記入してください。

| 生計 維持者 | 続柄 | 氏 名 | 生年月日 (年齢) | 学 校 の 種 別 | 自宅通学又は 自宅外通学の別 | 国公立又は 私立の別 | 申込者と 住 居 |
|-----------|----|-----|-------------|--------------|-------------------|---------------|-------------|
| | | | 年 月 日 (歳) | | 自宅 ・ 自宅外 | 国公立 ・ 私立 | 同 ・ 別 |
| | | | 年 月 日 (歳) | | 自宅 ・ 自宅外 | 国公立 ・ 私立 | 同 ・ 別 |
| | | | 年 月 日 (歳) | | 自宅 ・ 自宅外 | 国公立 ・ 私立 | 同 ・ 別 |
| | | | 年 月 日 (歳) | | 自宅 ・ 自宅外 | 国公立 ・ 私立 | 同 ・ 別 |

家族についての特記事項

<法定代理人確認欄> ※申込者が未成年の場合のみ記入してください

| 続柄 | 氏 名 | 法定代理人について特記事項 <small>※法定代理人が父母両方以外の場合、その理由について以下の欄に記入してください。</small> |
|----|-----|--|
| | | |
| | | |

※ 裏面に記入上の注意事項を記載していますので、よく読んでから記入してください。

記入上の注意事項

1 「世帯の状況表」

- ア 本人欄のうち「職業」・「勤務先名称等」欄は、勤務、就労しながら、修学する場合にのみ記入してください（通信制の場合等）。
- イ 申込者の家族欄には、同居・別居を問わず、申込者の父母及びその他生計を一にする者の全員を記入してください。
- ウ 家族のうち「生計維持者」は、生計維持者欄に○印を付してください。生計維持者は、原則、父母（どちらかいないときは1人）です。父母がいない場合は、申込者の生計を実際に支えている人が生計維持者です。
- エ 「職業等」欄は、「会社員」、「自営」、「パート」、「無職」などと記入し、勤務者であれば勤務先の名称を、自営業であれば「鮮魚商」などと記入してください。
- オ 学校や保育園に在学する者は「学生・生徒・児童である家族の記載欄」へ記入してください。「学校の種別」へは、次の【種別】の中から該当するものを記入するとともに、「自宅通学又は自宅外通学」、「国公立又は私立」の該当するものに○印を付してください。
- 【種別】保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、短期大学、専修学校（高等課程）・専修学校（専門課程）

2 「家族についての特記事項」欄

次のような事実がある場合は、それぞれ必要な事項を記入し、ア、イ、エについてはその事実を証明する書類を添付してください。

- ア 障害を持つ方がおられる場合は、氏名・障害等級など障害の程度。 ※障害者手帳の（写）を添付
- イ 申込日現在、2年以上にわたる期間療養中の方、又は療養を必要と認められる方がおられる場合は、氏名及び1年間の療養費（ただし、保険等により補填された金額は控除した後の額）。 ※領収書（請求書）の（写）等を添付
- ウ 母子・父子世帯に該当する場合（次のいずれかに該当するものをいいます。）は、その旨。
- ①母又は父と18歳未満の子の世帯 ②母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない（年間所得金額が50万円以下のものをいう。）祖父母の世帯
- ③18歳未満の子の世帯 ④祖父母と18歳未満の子の世帯 ⑤配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
- ⑥ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
- （注1）18歳以上の就学者（本人を含む。）及び長期療養、心身障害等のため経済力のない者は、18歳未満の子として扱います。
- （注2）祖父母及び兄弟には、それぞれ一方だけの場合も含まれます。
- （注3）父又は母の行方不明や別居離婚調停中の場合、学生の申出及び学校の面接等により実態が確認できれば、母子・父子世帯として差し支えありません。
- エ その他特記すべき事項（所得、家庭環境の急な変動等）があれば、記入してください。

3 法定代理人確認欄 ※申込者が未成年の場合には、契約時に全ての法定代理人の同意を得る必要があることから、法定代理人の確認を行います。

- ア 申込者が未成年の場合のみ、記入してください。
- イ 世帯・生計の状況に関わらず、法律の規定に基づく申込者の法定代理人を全員記入してください。
- ウ 法定代理人が父母両方以外の場合、その理由について「法定代理人について特記事項」欄に記入してください。理由の記載が不十分な場合には、法定代理人を確認できる書類（戸籍謄本等）の提出を求めることがあります。